

ぼくたちにお昼ごはん おごってくれませんか？

2017年度 活動報告書

特定非営利活動法人IFE



ゾマホンから皆様へ



このプロジェクトにご協力頂いている多くの日本人の皆様、そして外国人の皆様。

北野武さんのアイデアで2009年に始まったこの「ぼくたちにお昼ごはん おごってくれませんか？」プロジェクトは、皆様のおかげで、8年目を迎えました。今まで続けることが出来ているのも、皆様のご協力のおかげです。IFEの創設者として、そしてベナン国民の代表として、心より御礼を申し上げます。

さて、私は、2012年から務めて参りました、特命全権大使の任を、任期満了のため、2016年をもって退くこととなりました。

また、今年の7月には、今までの活動が認められ、日本の外務大臣賞を受賞いたしました。

私が4年間の任期を全うできましたのも、外務大臣賞を受賞できましたのも、日頃より、私の母国ベナン共和国、IFE、そして、私に対し、多大なご協力を頂いている皆様の支えのおかげでございます。

皆様に心より御礼申し上げます。

ありがとうございました。

大使という職務上、IFEの理事から退いておりましたが、この度、あらためてIFEの理事に就任いたしました。今後とも、IFEならびに、ゾマホンをよろしく願い申し上げます。

ぼくたちにお昼ごはん おごってくれませんか？プロジェクトは、給食会員の皆様の人間性と愛情に基づいた行動と想いの結晶である浄財を使わせて頂いておりますので、私がベナンに帰るときには、ベナン政府の方々に、皆様の想いと、プロジェクトのことを報告し、給食の大切さを伝えております。

皆様からの想いと期待を受け、このプロジェクトを更により良いものとするために、私も更なる努力をしていきたいと思っております。

皆様のご健康とお幸せを祈っております。

これからも、給食プロジェクトを宜しくお願い致します。

特定非営利活動法人IFE 理事 ゾマホン

ぼくたちにお昼ごはん おごってくれませんか？

2017年度 活動報告書

特定非営利活動法人IFE

給食会員の皆様

拝啓

日頃より「ぼくたちにお昼ごはん おごってくれませんか？」プロジェクトにご賛同下さり、誠にありがとうございます。

まず、去年は、事務局の事情のより、現地調査に行く事ができず、2016年度の活動報告書を書く事が出来ませんでした。皆様には、ご心配をおかけ致しましたこと、心よりお詫び申し上げます。

当プロジェクトは、現在も継続しておりますので、ご安心ください。

本プロジェクトもお陰様で2009年のスタートから、8年目を迎えました。これも皆様方のご支援とご愛顧によるものと、心から感謝いたしております。

また事務局の一員として、この活動に少しでもお役立ちできるよう、今後も活動を継続して参ります。

今後ともよろしく願い申し上げます。

それでは、2017年度の活動報告をご覧下さい。

敬具

プロジェクト履歴	日付	金額
第1回目送金	2009/5/8	3,660,000
第2回目送金	2009/9/24	2,700,000
第3回目送金	2010/4/28	4,340,000
第4回目送金	2010/9/15	1,500,000
第5回目送金	2011/2/23	1,550,000
第6回目送金	2011/3/23	2,000,000
第7回目送金	2011/4/1	800,000
第8回目送金	2011/9/7	580,000
第9回目送金	2011/10/7	700,000
第10回目送金	2011/12/20	3,100,000
第11回目送金	2012/1/4	500,000
第12回目送金	2012/1/31	1,500,000
第13回目送金	2012/4/2	1,360,000
第14回目送金	2012/5/1	740,000
第15回目送金	2012/9/28	1,000,000
第16回目送金	2012/12/21	1,764,000
第17回目送金	2013/4/12	1,254,053
第18回目送金	2013/9/30	3,276,306
第19回目送金	2014/7/30	3,754,443
第20回目送金	2015/2/24	790,000
第21回目送金	2015/9/28	2,316,470
第22回目送金	2016/4/25	667,172
第23回目送金	2016/6/29	2,000,000
第24回目送金	2016/8/22	3,000,000
ご寄付の総額		¥44,852,444

ぼくたちにお昼ごはん おごってくれませんか？

2017年度 活動報告書

特定非営利活動法人IFE

当プロジェクトは、日本事務局(特定非営利活動法人IFE)と、ベナンにある現地事務局(IFE財団)との連携により、継続運営しております。

昨年は、事情により、2016年度の活動報告をすることが出来ませんでした。今年2017年の2月に、現地事務局のスタッフが給食を実施している「あいのり小学校」を視察致しました。

IFEが運営する日本語学校の教師(石田 以下「石」)が、IFE財団スタッフ(ジェラード 以下「ジ」)にインタビューを致しました。

石：ジェラードさん、本日は、宜しくお願いします。まず、自己紹介をお願いします。

ジ：私は、ゾマホンさんが2002年にベナン共和国コトヌー市に設立した「IFE財団」で、秘書として働いています。2007年から、たけし日本語学校で日本語を学びました。

石：ジェラードさんは、給食を実施している、「あいのり小学校」を訪問したそうですね。

ジ：はい。私は、2017年2月28日に、ベナン共和国のコリンズ県アパリ村にある「あいのり小学校」を訪問しました。日本語学校があるコトヌー市から車で約4時間以上かかりました。アパリ村の道は舗装されていない、でこぼこ道ですから、途中で車が壊れるのがとても心配でした。

石：あいのり小学校の先生と子供の人数、また、時間割が分かれば、教えてください。

ジ：先生の子数は、校長先生も含めて6人です。校長先生は6年生を教えています。子供は、全員で252人です。また、時間割は、この表の通りです。

時間	1年生, 2年生(数字は分数)					3年生, 4年生(数字は分数)					5年生, 6年生(数字は分数)				
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
08:00 ~ 10:15	国旗掲揚 道徳 30 仏語 45 仏語 45	仏語 45 仏語 45 仏語 45	仏語 45 地理歴史 30 仏語 45	仏語 45 理科 45 仏語 45	仏語 45 仏語 45 仏語 45	国旗掲揚 道徳 30 仏語 45 仏語 45	仏語 45 理科 45 仏語 45	書取 45 地理歴史 30 仏語 45	仏語 45 理科 45 仏語 45	仏語 45 仏語 45 裁縫 45	国旗掲揚 仏語 60 仏語 60	仏語 45 仏語 75	仏語 45 仏語 75	仏語 45 仏語 75	仏語 45 仏語 75
10:15 ~ 10:30	休み時間					休み時間					休み時間				
10:30 ~ 12:00	算数 45 仏語 45	算数 45 仏語 45	算数 45 仏語 45	算数 45 仏語 45	算数 45 仏語 45	算数 60 歌 30	算数 60 美術 30	算数 45 仏語 45	算数 60 歌 30	算数 60 公民 30	算数 60 道徳 30	算数 60 公民 30	算数 60 美術 45	算数 60 公民 30	算数 60 歌・詩 30
12:00 ~ 15:00	休み時間		休み時間			休み時間			休み時間		休み時間			休み時間	
15:00 ~ 16:00	歌・詩 30 公民 30	仏語 30 美術 30	アート 30 歌・詩 30		理科 30 仏語 30	仏語 60	仏語 30 詩 30	仏語 60		書取 60	書取 60	理科 60	地理歴史 60		理科 60
16:00 ~ 16:10	休み時間		休み時間			休み時間			休み時間		休み時間			休み時間	
16:10 ~ 17:00	仏語 50	体育 50	書取 20 体育 30		昔話 40 国旗降納	アート 50	体育 50	体育 50		昔話 40 国旗降納	地理歴史 50	理科か裁縫 50	体育 50		昔話か裁縫 40 国旗降納

石：この12時からの休み時間に給食を食べるんですね。

ジ：いいえ。この10時15分からの休み時間に給食が出ます。私もそうでしたが、田舎の子供は、朝ごはんを食べないことが多いですから。

石：そうですね。なるほど。空腹では、勉強に身が入らないですからね。

給食を作っている方は、どんな方々ですか？

ジ：給食は、PTAで選ばれた、子供の母親が3人で作っています。

石：それはいいですね。給食に愛情が加わります。給食のメニューは、毎日変わりますか？

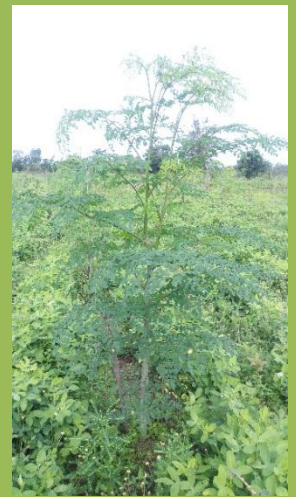
ジ：もちろん変わります。メニューは、PTAで決めますが、例えば、ソジャココ(豆おかゆ)、アタシ(豆入りの炊き込みご飯)、ココ(トウモロコシおかゆ)、リオグラ(炊き込みご飯)、ヤムラゲ(ヤム芋の煮込み)などです。



この日のメニューはソジャココでした。



家に居る兄弟と分けたいと言っていました。



モリンガの木

- 石：さて、昨年から、給食に変化がありましたよね。
 ジ：給食に奇跡の木と呼ばれる「モリンガ」を入れ始めました。
 石：これは、ベナンに「いのうえ小学校」を設立された井上様の提案から始まったたものですよ。
 ジ：はい。井上様は、小学校建設や井戸掘りだけでなく、給食の栄養のことや、農業の発展の事も考えています。
 石：そうですよね。私もモリンガについて調べましたが、10万種と言われる地球上の可食植物の中で、最も多い90種類以上栄養素を含んでいると言われてますね。
 ジ：はい。実は私が今回、あいのり小学校に行ったのは、給食にモリンガを入れるためのPTA会議に参加するためでした。
 石：そうですよね。誰が参加しましたか？
 ジ：校長、先生、村長、両親、IFE財団スタッフが参加しました。
 石：そうですか。会議では、どんな話をしましたか？
 ジ：給食の栄養価を上げるために、IFE財団から、給食にモリンガを入れる事を提案しました。PTAの人もモリンガが栄養が高いことは知っていますので、特に反対意見はありませんでした。
 石：良かったです。モリンガは、IFEの農園で作っていますよね。
 ジ：はい。コリンズ県イガンガン村にあるIFE農園で育てています。
 石：私も農園に何度か行きましたが、成長が早いと感じました。
 ジ：はい。モリンガは成長が早く、ほぼ毎月、収穫出来ます。
 石：IFE農園のモリンガは、IFEが給食を提供している小学校全校に配られていますよね。
 ジ：はい。もちろんです。IFEは「愛国心・献身・分かち合い」の精神で活動していますから。
 石：良かった。このモリンガで、子供の栄養が改善され、モリンガについても、再評価されればいいですね。



IFE農園でのモリンガ採集



乾燥部屋に持ち込みます



乾燥作業



PTA会議



PTAの方々



粉状のモリンガ



石 :さて次に、給食に関連して政府の動きがあったと聞きました。

ジ :はい。今までIFE財団は、政府に対して、学校給食の大切さを訴えてきましたが、ようやく、今年2017年7月19日に政府の会議で動きがありました。

サリマン・カリム母子教育大臣によると、ベナンの全部の小学校ではありませんが、1,574校の公立小学校の351,109人の児童を対象に学校給食を出す計画です。7月20日に式典も行われました。

この計画では、給食を出している学校を、2021年までに今の29%から51%にする目標です。目的は、学校に行く子供の人数を増やすこと、そして、子供の栄養を良くすることです。世界食糧計画(WFP)と協力し、ベナン政府は、1年間で70億FCFA(約14億円)、2021年までに、280億CFA(56億円)を出します。

石 :そうですね。ようやく政府が動き出しましたか。「ぼくたちにお昼ごはん おごってくださいませんか？」プロジェクトが2009年に始まってから8年、IFEが政府に訴えてきた成果が出ましたね。これほど嬉しいことはありません。

日本の給食は、1889年に山形県私立小学校が無料で食事を配ったのが始まりのようですが、学校給食法ができたのは1954年ですから、法整備されるまで65年の年月を要しています。ベナンの学校給食は、30年前まで一部の小学校で行われていたようですが、継続は難しかったということですね。今回のこの計画が2021年までで終わることなく、継続されるといいですね。あと先ほど、今29%の学校で給食をしていると言いましたが、本当ですか？

ジ :29%の中には、有料の給食も含んでいると思います。

石 :なるほど。そうですね。とはいえ、経済が強いといわれる日本ですら、学校給食は有料ですから、やはり給食の無料を継続するのは相当の政府の努力が必要ですね。

もし政府にお金が無いなら、例えば、各小学校近くの空いた国有地を畑にして、時間割の大部分を占めるフランス語を、週1時間だけ農業の実習にすれば、少しは足しになるように思いますが、どうですか？

ジ :そうですね。とても良いと思います。実は、世界食糧計画(WFP)は、その考えもあると聞きました。

石 :そうですね。出来れば、ベナン政府は、世界機関に頼むのではなく、IFE財団のように実績のある、ベナンの法人と協力したほうが良いと思うのですが。残念ですね。

参考資料(2017年9月21日 La Nation誌 翻訳 抜粋)

「7月19日、閣議において、世界食糧計画(PAM)と学校給食改善に関わる協定が承認された。

同協定は、ベナン全土1574の小学校、35万人の小学生が対象で、就学率の向上及び自動的貧困削減を目的とし、毎日温かい食事を提供するとした。同計画は、政府行動計画(PAG)で発表された給食導入率を現在の29%から21年には51%とする目標に沿ったものであり、この計画には272億CFAが充てられる。」



ぼくたちにお昼ごはん おごってくれませんか？ 2017年度 活動報告書

特定非営利活動法人IFE

終わりに

給食プロジェクトも8年目になりました。

報告しましたとおり、昨年から栄養価が豊富な「モリンガ」を給食に入れ、子供の栄養を考えた給食を出すように心がけております。

また、今年より政府が給食に関して政策を打ち出したのも、喜ばしいことです。

今回の報告では、給食を提供している小学校に行ったIFEスタッフのインタビューを掲載致しましたが、現在、IFEの日本人スタッフが給食プロジェクトの視察に行く計画をしております。

各小学校の給食の状況を現地調査し、あらためて、報告させて頂こうと思います。

皆様には現地の様子をお届けする機会が少ないため、私たち事務局としては、心苦しく感じているのも正直な気持ちです。プロジェクトを始めてから、小学校の子供の人数が増え続け、喜ばしい事ではありますが、現地の物価の高騰や円安の影響を受け、運営は難しいのは確かです。しかし、皆さんの支援はこれまで同様、全額給食費として提供しています。報告書をまとめるための費用や、ホームページを作成する費用はボランティアという形で維持しております。

今年度もしっかり給食プロジェクトを継続していく所存です。皆様、本プロジェクトに対して今年度もご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



ぼくたちにお昼ごはん おごってくれませんか？

2017年度 活動報告書 ～動画配信～

特定非営利活動法人JFE

YouTube

ぼくたちにお昼ごはんおごってくれませんか？

検索

昨年度に引き続き、Youtubeでベナン共和国の給食プロジェクトの様子をアップしています。ぜひインターネットで上記の言葉を入力し、検索してみてください。

動画があり



動画があり



いのうえ小学校の給食の様子

●校長先生へのインタビュー

- ・日本の皆さんに感謝したい。給食プロジェクトのお蔭で、遠い村からも子どもたちが小学校に通うようになった。(就学率が上がった。)
- ・通常は7時に登校して、すぐに掃除から始めるんだ。
- ・将来、ベナンの発展のために頑張ってくれる子供たちを育てたい。

●給食スタッフにインタビュー

- ・子供たちには手作りで温かいものを食べさせてあげたい。
- ・辛いソースにしているのは、髄膜炎予防にもつながる。
- ・子供たちの健康の事も考えた献立づくりをするのよ。

継続手続きのご案内

特定非営利活動法人IFE

1 お振込み

みずほ銀行 八王子支店 普通預金 1191043

特定非営利活動法人 IFE きたの基金

カナ名義：トクヒ)IFE キタノキキン

手続き後のご連絡について

お振込名義だけでは、個人様を特定できない場合もございますので、お振込後にメールにてご連絡下さいますよう、お願い申し上げます。

領収書について

経費削減のため、領収書が必要な方のみに、事務局からPDFファイルにて送信いたします。必要な方は、ご連絡下さい。

2 ご連絡

ご本人様確認をさせていただきますので、メールにて**お振込日**、**お名前**、**お振込名義**をご連絡下さい。なお、返信が遅くなる場合もございますが、何卒ご了承下さい。

各種変更について

初回のお申込時から住所等、変更がある場合は、メールにて変更内容をご連絡下さい。

※お振込に関する、お振込手数料はご負担下さい。

※当法人は、事務所経費削減のため、個人宅を事務所登記しております。
大変恐縮ですが、お電話・郵便お控え下さい。

※当事務局宛のご連絡はメールにてお願いします。

※経費節減のため、報告はメールにて連絡させて頂きたいと存じます。
メールアドレスの変更等ございましたら lunch@npo-ife.jp までご連絡ください。

事務局は全員、正職を持ちながら、ボランティアで運営しております。行き届かない事も多々あると存じますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



特定非営利活動法人IFE

NPO法人IFE

Non-Profit Organization IFE